

01

ビジョンの概要



沼津市のマンホール①

日本百景にも選ばれ、歌人若山牧水にも愛された「千本松原」越しに「愛鷹山」と世界遺産に登録された日本の象徴ともいえる「富士山」を望む。沼津市の花「はまゆう」を手前に配置しデザインした。

設置場所：沼津市内全域

1 ビジョンの策定にあたって

策定の趣旨

本市の下水道事業は、公共用水域の水質汚濁問題を解決するため、1967(昭和42)年に事業に着手し、2023(令和5)年度末における市内全人口に対する下水道の普及率は62.9%(コミプラ等含む)となっています(汚水処理の普及率は90.6%)。

下水道事業の普及当初は、市街地拡大、人口増加、生活様式の高度化に伴う水利用の増加を前提として、生活環境の改善、公共用水域の水質保全、市街地の浸水防除などを目的に進められてきました。

しかし現在、人口減少や少子高齢化社会の進行、環境保全意識の高まりなどから節水型社会への転換等、下水道を取り巻く社会情勢が変化しつつあります。加えて、下水道施設の老朽化の進行や、南海トラフ地震などの災害に対する意識の高まりなどから、下水道施設の更新を行わなければなりません。

このような下水道事業を取り巻く社会情勢の変化に対応し、安定した下水道サービスを提供していくためには、限られた財源の中、より効率的な下水道事業を目指す必要があります。

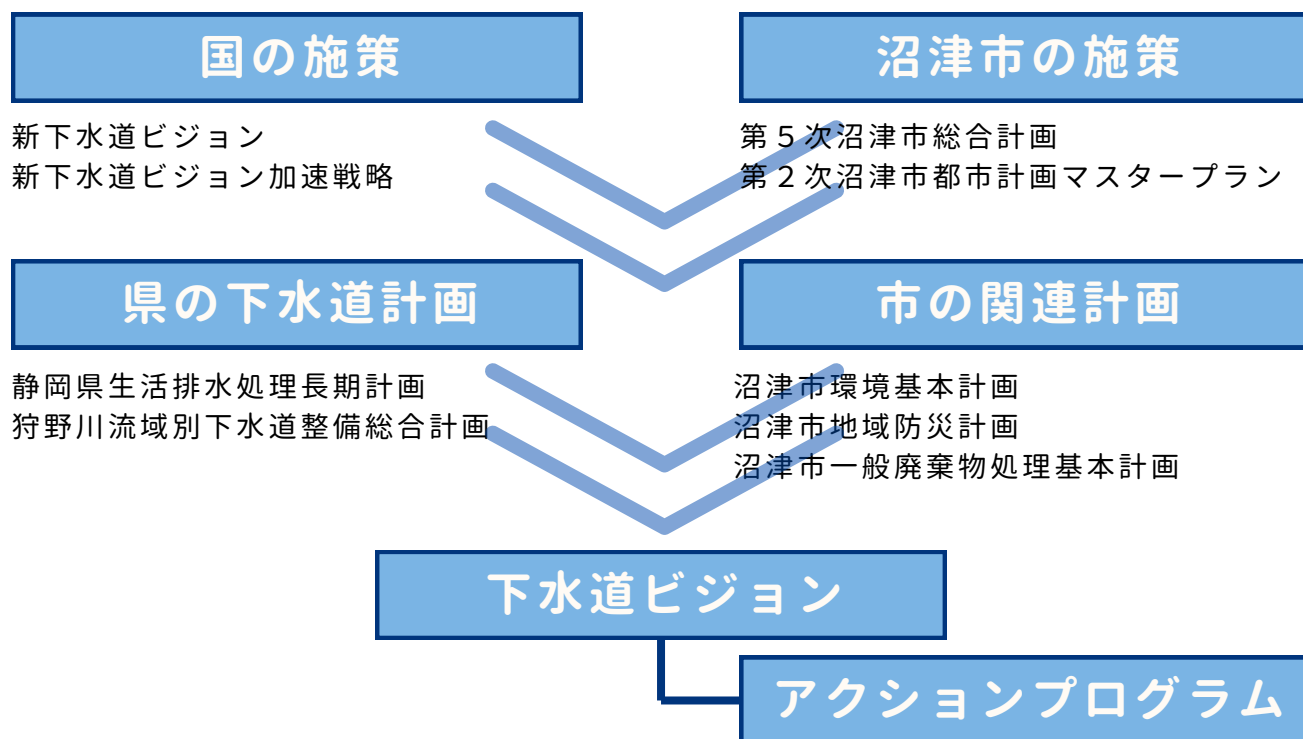
そこで本市では2015(平成27)年度～2024(令和6)年度を目標年次とする「沼津市下水道ビジョン」を策定し、下水道事業が直面している課題に対し、その解消のための取り組みを進めてきました。今回策定する「沼津市下水道ビジョン2025-2034」では、その内容を踏まえつつ、社会情勢の変化を取り入れて、達成のための具体的な内容を示すものとします。

ビジョンの位置付け

本ビジョンは、国が示す「新下水道ビジョン」「新下水道ビジョン加速戦略」や、本市の上位計画である「第5次沼津市総合計画」、「第2次沼津市都市計画マスタープラン」を踏まえ、静岡県「静岡県生活排水処理長期計画」、「狩野川流域別下水道整備総合計画」、本市の「沼津市環境基本計画」、「沼津市地域防災計画」、「沼津市一般廃棄物処理基本計画」等、関連計画との整合を図るものとします。

また本ビジョンで示した施策を実行するために、詳細な取り組み及び目標値を定めたアクションプログラムを策定します。

関連計画の変更等があった際は、必要に応じてビジョン内容の見直しを行うものとします。

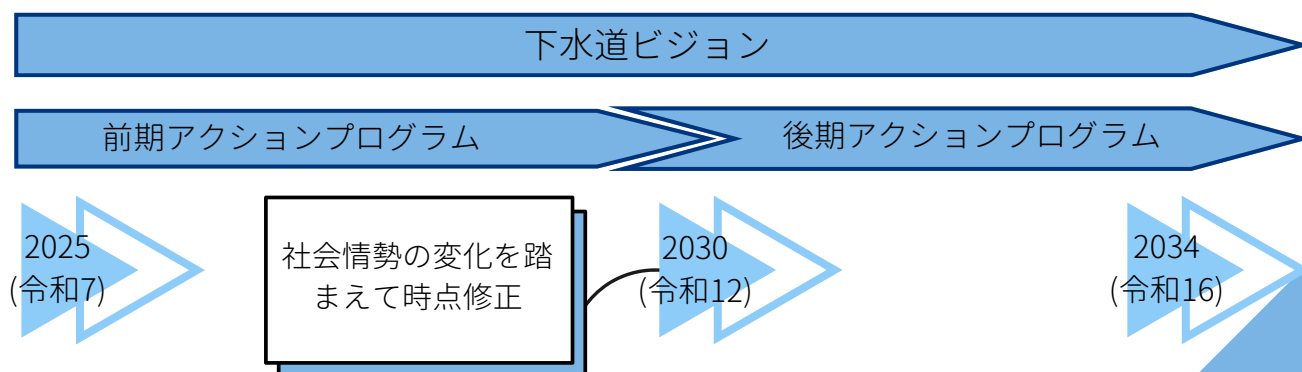


ビジョンの位置付け

ビジョンの計画期間

計画期間は、計画的かつ効率的な事業の実施に向け、2025(令和7)年度～2034(令和16)年度の10年間とします。このうち、2025(令和7)年度～2029(令和11)年度の5年間を前期アクションプログラム、2030(令和12)年度～2034(令和16)年度の5年間を後期アクションプログラムとし、前期アクションプログラムの進捗状況や社会情勢の変化を踏まえた時点修正を行います。

また、期間満了前に次期ビジョンを策定し、速やかに次期ビジョンを公表するものとします。



ビジョンの計画期間

